



令和2年 1月5日(日)

12:00 開演 (11:00 開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階後席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円(25歳以下、要学生証提示)

・1月公演は素謡「翁」があるため演能前の解説はいたしません。  
あしからずご了承ください。

・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催:公益財団法人 十四世六平太記念財団

協力:喜多流職分会

後援:品川区、品川区教育委員会

# 喜多流自主公演

令和二年 一月

鉢 氷

木 室

高 林 中 村

呻 二 邦 生

## チケット予約購入のご案内

### インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>  
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

#### ① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

#### ② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

### 電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

#### ① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

#### ② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。  
入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

#### ③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

### 窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。

ご予約の際ご案内いたします。

※令和元年度公演の後半5回分は発売中です。

※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

## ご注意

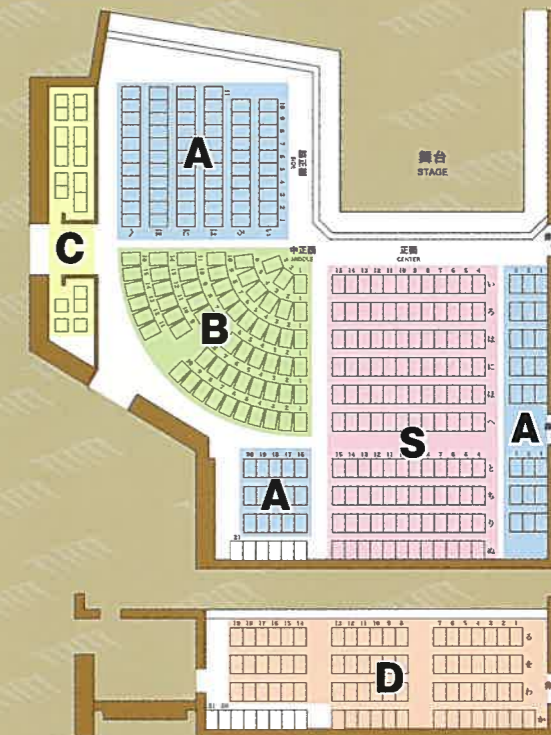
- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

## 喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ◆ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ◆お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ◆ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
  - ・追加料金はかかりません。
  - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
  - ・年間優待券のみでの観能はできません。
  - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ◆ご利用は、表記年度中(4月～3月)の喜多流自主公演のみ有効です。青年能には使用できません。

## 自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階後席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

## 会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。  
目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮いたします。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>



素謡

翁

友枝昭世  
長島 茂

地謡  
佐々木多門  
栗谷明生  
栗谷能夫  
内田成信

能

シテ連・天女

狩野祐一  
友枝雄太郎

シテ連・男  
後シテ・氷室の神  
前シテ・老翁

中村邦生

氷室

ワキツレ・従者 矢野昌平  
ワキ下 福王和幸  
ワキツレ・従者 村瀬 提  
アイ：氷室明神の末社 中村修一

大鼓 佃 良勝  
小鼓 田邊 恭資  
太鼓 梶谷英樹  
笛 藤田貴寛

後見  
内田安信  
塩津哲生

地謡  
谷 友矩 友枝真也  
佐藤 寛泰 友枝雄人  
塩津 圭介 長島 茂  
佐藤 陽 金子敬一郎

休憩(二十分)

狂言

鍋八撥

シテ・鍋売り 野村萬斎

アド・目代 石田幸雄  
小アド・羯鼓売 野村裕基

仕舞

邯鄲

金子敬一郎

地謡  
金子龍晟  
佐藤章雄  
栗谷能夫  
大島輝久

休憩(十分)

能

シテ連・常世の妻 高林昌司

後シテ・前同人  
前シテ・佐野常世

高林呻二

鉢木

後ワキ・最明寺時頼 宝生欣哉  
前ワキ・旅僧 ワキツレ・二階堂某 御厨誠吾  
アイ・早打 石田淡朗  
アイ・太刀持 高野和憲

大鼓 柿原弘和  
小鼓 森澤勇司  
笛 一噌隆之

後見  
香川靖嗣  
谷 大作

地謡  
大島輝久 内田成信  
栗谷浩之 大村 定  
栗谷充雄 出雲康雅  
佐々木多門 栗谷明生

終了予定時刻 四時三十分頃

氷室(ひむろ)

龜山院の臣下が丹波の氷室に立ち寄る。そこに氷室守の老人が現れて供御する氷のいわれや、夏になつても氷が溶けないのは大君の徳のためであると語る。老人は都へ帰ろうとする臣下を呼び留め、今夜の氷調の祭を見てゆくよう勧める。すると辺りが暗くなり季節外れの雪が降り始めた中を、老人は氷室の中に消え入る。(中入)  
夜がふけると天女が現れて舞を舞う。やがて氷室の中から氷室の神体も現れ、森羅万象もいて凍るほどの神威を現す。ついには持ちたる氷を臣下に貢物としてあたえ、道中を守護して都の北山まで見届け、今上の御世を寿ぐのだった。  
(約八十分)

鍋八撥(なべやつばち)

所の目代が新しく市を立てるのに際し、一番最初に店の場所をとった者をその市の代表と認め免税するという高札を出す。それを見て夜明け前に一番乗りした羯鼓売りが、ひと寝入りしていると、一足遅れて浅鍋売りがやってくる。先を越された浅鍋売りは、羯鼓売りの傍ら割り込むように寝入る。目を覚ました羯鼓売りは、一番乗りをめぐる浅鍋売りと争いを始め、目代が仲裁に入るのだが…。  
(約三十五分)

鉢木(はちのき)

ある大雪の夜に、上野国の佐野のあたりで旅僧が宿を探していた。一軒の家に宿を乞うが、主人の佐野源佐衛門常世は一度断る。しかし妻の言葉に、僧の後を追ひ、呼び戻す。そして粟の飯をすすめ、秘蔵の鉢木の梅、桜、松を火にくべて暖をとらせる。有難く思った僧は名を尋ねると佐野源左衛門と名乗り、領地を横領され落ちぶれているが、鎌倉に事が起きたら一番に駆けつけて命を捨てて戦う覚悟だと話す。翌朝、旅僧は名残を惜しみつつ立ち去る。(中入)  
後日、北条時頼(最明寺)より軍勢の招集がかかり常世も駆けつける。そして北条時頼は常世を捜し出させ過日の僧は自分であると明かす。常世の言葉が偽りではなかった忠誠を賞し領地へ戻し、鉢木の礼に三箇庄(加賀の梅田、越中の桜井、上野の松井田)を与える。  
(約一〇〇分)

令和二年一月自主公演番組予告

令和二年二月二十三日(日) 正午始

十四世喜多六平太記念能楽堂

雲林院 長島 茂

巻 絹 出雲康雅